

巻 頭 言

取締役兼執行役員
技術本部長

仲村 公孝



日本経済はコロナ禍から回復基調にあると言われていますが、国内消費者物価指数の上昇や、米国経済の減速、ウクライナ危機を背景としたエネルギー価格の高騰など、まだまだ予断を許さない状況であります。

一方で、今後のインバウンドの増加や、半導体不足の解消にともなう産業機械や自動車などの増産が期待されるとともに、SDGs（持続可能な開発目標）や、カーボンニュートラル（脱炭素）、DX（デジタルトランスフォーメーション）などの取り組みを起点とした新しい価値を創出する製品やビジネスが創造されようとしております。

当社は「新しいTAKADAの成長に向けた挑戦のはじまり」として、今年度より第5次中期経営計画をスタートいたしました。その実行策の指針として①SDGsへの取り組み ②挑戦をリスクペクトする組織への変革 ③“設備技術産業の雄”への挑戦 ④新しい事業領域への挑戦 を掲げております。

本号ではその一環としてSDGsおよびプラントライフサイクルエンジニアリングに挑戦する共同研究や、今後さまざまな分野で利活用が期待される電流情報量診断技術、プラント設備の腐食とその防止対策を紹介しています。更に、特集「メンテナンス技術」として、東亜非破壊検査株式会社様より「薄膜圧電センサを用いたモニタリングシステム」をご寄稿いただきました。その他にも「原子力発電プラントにおける当社の保全技術の展開」を掲載しております。

是非、これらの論文・報告をご高覧いただきまして、皆様の忌憚のないご意見・ご批評をいただければ、誠に幸甚でございます。

今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。